



2021年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月13日

上場会社名 株式会社グローバルインフォメーション 上場取引所 東
 コード番号 4171 URL https://corporate.gii.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小野 悟
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO兼管理部長 (氏名) 杜山 悦郎 (TEL) 044-952-0102
 四半期報告書提出予定日 2021年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年12月期第2四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第2四半期	1,368	—	290	—	315	—	215	—
2020年12月期第2四半期	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 包括利益 2021年12月期第2四半期 215百万円(—%) 2020年12月期第2四半期 ー百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第2四半期	79.95	73.99
2020年12月期第2四半期	—	—

(注) 2020年12月期第2四半期においては、四半期連結財務諸表を作成していないため、2020年12月期第2四半期の数値及び2021年12月期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第2四半期	2,257	1,577	69.8
2020年12月期	1,919	1,351	70.4

(参考) 自己資本 2021年12月期第2四半期 1,577百万円 2020年12月期 1,351百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2021年12月期	—	0.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,482	15.3	421	31.6	448	34.9	304	19.3	113.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年12月期2Q	2,722,700株	2020年12月期	2,625,000株
② 期末自己株式数	2021年12月期2Q	41株	2020年12月期	—株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年12月期2Q	2,694,883株	2020年12月期2Q	—株

(注) 当社は2020年12月期第2四半期については、四半期連結財務諸表を作成していないため、期中平均株式数を記載しておりません。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社グループとして約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.4「当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算説明会内容の入手方法について）

当社は、2021年9月3日に機関投資家及び証券アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。当日使用する決算説明会資料は、当社ホームページ（<https://corporate.gii.co.jp>）に掲載します。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(追加情報)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2021年1月1日～2021年6月30日)における世界経済は、中国経済の拡大や先進国経済の持ち直しなどにより、総じて緩やかな回復基調にあります。日本国内においては、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念される中、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置の発令により社会経済活動が再び制限され、景気は依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社が属する市場調査レポート出版業界においては、インド、中国系の調査出版会社の台頭や調査出版会社自身による直販部門のシェア拡大等が見られ、事業環境は常に変化しております。

このような状況の下、当社は引き続き今期を初年度とした3か年の「2021 中期経営計画」に基づき、各種施策に取り組んでおります。仕入面では商品紹介ページの充実化、管理体制の効率化を進める一方、販売面では英語版販売サイトのリニューアルをはじめ、オンラインでの集客・顧客対応等、販売チャネルの多角化に努めております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は1,368,106千円、営業利益は290,448千円、経常利益は315,389千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は215,447千円となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(市場・技術動向に関する情報提供事業)

当セグメントは、取扱商品・サービスの違いにより、市場調査レポート事業、年間情報サービス事業、委託調査事業及び国際会議・展示会事業の4つに区分されております。以下には事業区分別の業績について記載いたします。

(a) 市場調査レポート事業

当社の主力である市場調査レポート事業は、本社部門において、日本国内の多くの顧客企業の会計年度末にあたる3月に向けて、多くの注文を受けました。当第2四半期連結会計期間においても、引き続き堅調に推移し、前年同期の売上高を大きく上回りました。海外部門においては、韓国支店が売上を牽引し、こちらも売上高が前年同期を上回りました。

この結果、市場調査レポート事業全体では、前年同期を大きく上回り1,162,846千円となりました。

(b) 年間情報サービス事業

年間情報サービス事業は、本社部門の売上高が前年同期と比較して減少するものの、海外部門の売上高が前年同期を上回りました。

この結果、年間情報サービス事業全体では、前年同期を上回り67,053千円となりました。

(c) 委託調査事業

委託調査事業は、本社部門においては、受託件数が前年同期と比較して増加し、売上高が前年同期を上回りました。一方で、海外部門においては、売上高が前年同期を下回りました。

この結果、委託調査事業全体では、前年同期をわずかに上回り95,979千円となりました。

(d) 国際会議・展示会事業

国際会議・展示会事業は、新型コロナウイルス蔓延の影響を受け、当社が取り扱う会議・展示会は引き続きオンラインで行われました。当社を経由した会議・展示会の参加者数が前年同期比で大きく減少した上に、会議・展示会のオンライン化による参加費用の低下により、本社部門、海外部門の両方において、売上高は前年同期を大きく下回りました。

この結果、国際会議・展示会事業全体では、前年同期を大きく下回り3,652千円となりました。

以上より、当セグメントの売上高は1,329,532千円となり、セグメント利益(営業利益)は295,415千円となりました。

(その他事業)

当セグメントにおきましては、株式会社ギブテックにおけるIoT(モノのインターネット)向け無線通信方式である

LPWA通信に関する製品の販売、受託開発等により売上高は38,574千円となり、セグメント損失（営業損失）は8,567千円となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末より337,917千円増加して、2,257,878千円となりました。

流動資産の残高は、325,544千円増加して、2,162,444千円になりました。この主な要因は、現金及び預金の366,464千円増加の一方で、売掛金の49,231千円減少等によるものであります。

固定資産の残高は、12,372千円増加して、95,434千円になりました。この主な要因は、繰延税金資産の13,835千円増加等によるものであります。

（負債）

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末と比較して112,395千円増加して、680,410千円になりました。

流動負債の残高は、105,329千円増加して、425,474千円になりました。この主な要因は、未払法人税等の107,758千円増加の一方で、支払手形及び買掛金の28,842千円減少等によるものであります。

固定負債の残高は、7,066千円増加して、254,936千円になりました。この主な要因は、役員退職慰労引当金の6,468千円増加等によるものであります。

（純資産）

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末と比較して225,521千円増加して、1,577,467千円になりました。この主な要因は、資本金の44,446千円増加、資本剰余金の44,446千円増加、利益剰余金の136,697千円増加等によるものであります。

なお、自己資本比率は69.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結結果計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、1,884,114千円となりました。

当第2四半期連結結果計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は326,993千円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益315,389千円、賞与引当金の増加23,333千円、売上債権の減少34,210千円、仕入債務の減少22,640千円があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は597千円となりました。これは、有形固定資産の取得による支出297千円、無形固定資産の取得による支出300千円があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の増加は10,206千円となりました。これは主に、株式の発行による収入88,892千円、配当金の支払額78,616千円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の連結業績予想につきましては、前回公表（2021年5月13日付）いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,517,602	1,884,066
売掛金	239,515	190,283
商品及び製品	107	264
原材料及び貯蔵品	7,196	16,448
前渡金	63,637	57,435
その他	8,840	13,946
流動資産合計	1,836,899	2,162,444
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	25,090	24,720
工具、器具及び備品（純額）	3,194	2,871
土地	12,939	12,939
有形固定資産合計	41,224	40,531
無形固定資産		
商標権	205	193
ソフトウェア	4,132	3,710
その他	465	465
無形固定資産合計	4,803	4,369
投資その他の資産		
繰延税金資産	9,880	23,716
その他	27,151	26,816
投資その他の資産合計	37,032	50,533
固定資産合計	83,061	95,434
資産合計	1,919,961	2,257,878

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	105,218	76,376
未払金	19,686	9,739
未払法人税等	4,546	112,305
未払消費税等	35,427	52,549
前受金	126,843	117,239
賞与引当金	3,792	27,125
その他	24,630	30,138
流動負債合計	320,144	425,474
固定負債		
退職給付に係る負債	18,020	18,618
役員退職慰労引当金	229,850	236,318
固定負債合計	247,870	254,936
負債合計	568,014	680,410
純資産の部		
株主資本		
資本金	91,075	135,521
資本剰余金	69,575	114,021
利益剰余金	1,190,846	1,327,544
自己株式	—	△68
株主資本合計	1,351,496	1,577,017
新株予約権	450	450
純資産合計	1,351,946	1,577,467
負債純資産合計	1,919,961	2,257,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
売上高	1,368,106
売上原価	742,449
売上総利益	625,656
販売費及び一般管理費	335,208
営業利益	290,448
営業外収益	
受取利息	106
為替差益	19,814
債務勘定整理益	5,234
助成金収入	185
その他	58
営業外収益合計	25,400
営業外費用	
上場関連費用	266
その他	192
営業外費用合計	459
経常利益	315,389
税金等調整前四半期純利益	315,389
法人税、住民税及び事業税	113,777
法人税等調整額	△13,835
法人税等合計	99,941
四半期純利益	215,447
親会社株主に帰属する四半期純利益	215,447

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	215,447
四半期包括利益	215,447
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	215,447

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	315,389
減価償却費	1,725
敷金償却	334
賞与引当金の増減額(△は減少)	23,333
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	598
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	6,468
受取利息及び受取配当金	△106
助成金収入	△185
為替差損益(△は益)	△29,861
売上債権の増減額(△は増加)	34,210
たな卸資産の増減額(△は増加)	△9,342
仕入債務の増減額(△は減少)	△22,640
その他の資産の増減額(△は増加)	246
その他の負債の増減額(△は減少)	12,550
小計	332,720
利息及び配当金の受取額	106
助成金の受取額	185
法人税等の支払額	△6,018
営業活動によるキャッシュ・フロー	326,993
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△297
無形固定資産の取得による支出	△300
投資活動によるキャッシュ・フロー	△597
財務活動によるキャッシュ・フロー	
株式の発行による収入	88,892
自己株式の取得による支出	△68
配当金の支払額	△78,616
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,206
現金及び現金同等物に係る換算差額	29,861
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	366,464
現金及び現金同等物の期首残高	1,517,650
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,884,114

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年12月24日に東京証券取引所JASDAQスタンダード市場に上場いたしました。上場にあたり、2021年1月25日を払込期日とする有償第三者割当増資（オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当増資）による新株式発行75,000株により、資本金及び資本準備金がそれぞれ41,745千円増加しております。

さらに当第2四半期連結累計期間において新株予約権の行使による払込みにより、資本金及び資本準備金がそれぞれ2,701千円増加しております。

この結果、当第2四半期連結会計期間末において、資本金は135,521千円、資本剰余金は114,021千円となっております。

(セグメント情報等)

当第2四半期連結累計期間(自 2021年1月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	市場・技術動向 に関する 情報提供事業	その他事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,329,532	38,574	1,368,106	—	1,368,106
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—
計	1,329,532	38,574	1,368,106	—	1,368,106
セグメント利益又は損失 (△)	295,415	△8,567	286,848	3,600	290,448

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、株式会社ギブテックから当社へ発生する業務委託費、支払手数料、地代家賃のセグメント間取引の消去3,600千円であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りの仮定につきましては、前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した内容から重要な変更はありません。なお、現在入手可能な情報に基づいて会計上の見積り・判断を行っておりますが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況や影響については不確定要素が多いため、その状況によっては今後の当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。